

公益財団法人 日本ソフトボール協会機関誌

ソフトボール

2026年/令和8年
第495号

6月号
(毎月1回10日発行)

編集兼発行者 公益財団法人 日本ソフトボール協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square

T E L . 03-5843-0480 F A X . 03-5843-0485

編集部 ㈱日本体育社 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13-501

T E L . 03-3811-6911 F A X . 03-3811-6290



第2回男子U23ワールドカップ (2026.4.25~5.3 / コロンビア・シンセレホ)

C o n t e n t s

・第2回男子U23ワールドカップ2 男子U23日本代表、初の世界に輝く!!	・ニトリ JD.LEAGUE 2026 第2節~第5節8 ・第59回日本女子リーグ第1節・第2節14 ・2026シーズン リーグ開催真っ盛り!20
・男子U18日本代表レポート4 ・女子U15日本代表レポート6	・事務局だより22

●第2回男子U23ワールドカップ●

令和8年4月25日（土）～5月3日（日） コロンビア・シンセレホ



男子U23日本代表 初の世界一に輝く!!

男子ソフトボール「U23」（23歳以下）カテゴリーにおける「世界一の座」を競う「第2回男子U23ワールドカップ」が、去る4月25日～5月3日、コロンビア・シンセレホにて開催された。

今大会には、各大陸予選を勝ち抜いた11チーム（アジア・オセアニア・日本、シンガポール、オーストラリア、ニュージーランド、ヨーロッパ・チェコ、デンマーク、北中南米・ベネズエラ、アルゼンチン、カナダ、メキシコ、アフリカ・南アフリカ）に開催国・コロンビアを加えた合計12チームが出場。2023年の記念すべき第1回大会で惜しくも準優勝。初の栄冠を奪取に燃える男子U23日本代表は、オープンングラウンド（予選リーグ）グループAを4勝1敗（チェコに11-3、アルゼンチンに2-3、南アフリカに14-0、ニュージーランドに3-1、コロンビアに20-0）の1位通過。スーパーラウンド（2次リーグ）を4勝1敗（オーストラリアに5-6で敗れたが、ベネズエラに1-0、メキシコに2-1で勝利。オープンングラウンド同グループ・チェコ戦、ニュージーランド戦の勝利を持ち越し、4勝1敗）の2位で終え、最終日・ワールドチャンピオンシップファイナル（優勝決定戦）で「スーパーラウンド1位」オーストラリアと「再戦」。



世界一の左腕を攻略し、初優勝!!

そのチャンピオンシップファイナルでは、「世界一のサウスポー」「難攻不落」のジャック・ベスグロブに打線が食らいつき、狙い球を絞る「コンパクトなスイング」で7安打! 4点を先行!! 最終スコア4-2で勝利をつかみ、見事リベンジ。「初の世界一」に輝いた!



オーストラリアに一度敗れはしたものの、決勝へ



打線も長打・小技と「日本らしさ」を發揮!



日々成長し、優勝投手となった高橋理央



この大きな成果を、必ずやTOPカテゴリーにつなげて!!

「第2回男子U23ワールドカップ」 日本戦詳細レポート等は



こちら!



◆男子U18日本代表レポート



令和8年度 男子U18日本代表 「16名」が決定！

去る4月14日（火）～16日（木）、宮崎県宮崎市ひなた宮崎県総合運動公園を会場に「令和8年度 男子U18日本代表チーム選手選考会」（第9回男子U18アジアカップ出場選手選考会）が開催され、全国から72名の選手がチャレンジ。3日間の厳しい選考を経て、「代表選手16名」が正式決定した。



72名の選手が選考会にチャレンジ！

選考会初日は、まず参加選手全員の体力・運動能力を測定。並行して山崎均ヘッドコーチ・選手との個人面談、投手の球速測定、捕手のスローイング（盗塁阻止を想定した二塁への送球）計測、野手のシートノック・フリーバッティングも行われた。

選考会2日目・3日目は72名の参加選手をA・B・C・Dの4つのグループに振り分け、紅白戦形式で対戦させ

る実戦主体の選考内容。選手一人ひとりの「実戦能力」（※投手は与えられたイニング数の中でどこまで実力を発揮できるか、野手は守備、打撃、走塁といった基本的な要素に加え、攻守における特徴・ストロングポイントの有無、実戦の中での状況判断能力やそこで選択したプレイの有効性・確実性、また、それらの要素・能力が「世界に通用するレベル」にあるかどうか等）が細部にわたりチェックされ、全日程を終了した。



今回チームの指揮を執る、山崎均ヘッドコーチ

厳正な選考を経て決定した「男子U18日本代表16名」は5頁の通り。

ワールドカップアジア地区予選を兼ねる「第9回男子U18アジアカップ」は、本年12月2日～8日、フィリピン・クラークを舞台に開催される予定である。

◆令和8年度 男子U18日本代表チーム (第9回男子U18アジアカップ出場選手)

・投手

- 板倉 伶和 (豊川高等学校)
- 大野 楓芽 (飛龍高等学校)
- 神田 悠生 (飛龍高等学校)
- 與那嶺仁渉 (沖縄県立読谷高等学校)

・捕手

- 石川 敦士 (愛媛県立松山工業高等学校)
- 佐伯 泰知 (広島県立御調高等学校)
- 村上 有翔 (長崎県立大村工業高等学校)

・内野手

- 尾崎 鳴斗 (啓新高等学校)
- 金尾 翔人 (高知県立岡豊高等学校)
- 砂坂 泰進 (啓新高等学校)
- 藤本 優希 (広島県立御調高等学校)
- 本田 琉晟 (愛媛県立松山工業高等学校)
- 松尾 颯太 (長崎県立佐世保西高等学校)

・外野手

- 白石 一颯 (愛媛県立東温高等学校)
- 馬場 麟弥 (文徳高等学校)
- 濱野 恵成 (長崎県立大村工業高等学校)



●女子U15日本代表レポート●



「代表選手16名」決定!

去る4月21日（火）～23日（木）の3日間、静岡県伊豆市・天城ドームを主会場に「令和8年度女子U15日本代表チーム選手選考会」（第3回女子U15アジアカップ（中国／山東省威海）出場選手選考会）が実施された。

選考会には、各都道府県協会の推薦を受けた142名が参加。「日本代表」として大会に出場する代表選手「16名」の座をめざし、厳しい選考に臨んだ。

選考会初日は、各選手の基本的な身体能力・技術を確認する「計測」が実施され、30m走、投手の球速測定、捕手の一塁走者の盗塁阻止を想定した二塁送球のタイム測定、打者の打球速度の計測等が行われた。

2日目は、「実戦形式」の選考がメインで行われ、ボールカウントを設定し、走者を置いた状況からスタート。ピッチャーは打者3人ごとに交代していくローテーションで選考が進められた。ピッチャーは打者を抑える投球、バッターは最低限走者を進めるか、一気に走者を還す打撃をするか、またランナーは打球判断等の走塁のセンスもチェックされ、個々の特徴や自らの判断、アイディアをプレイに活かすスキルを有しているか否かも選考対象となった。

選考会最終日は、シートノックが行

われ、国内大会で使用されているゴムボールではなく実際に国際大会で使用される革ボールでの打球の速さやバウンドの違いに対応できるだけの守備力を備えているか等が再度確認された。その後、左打者でいわゆる「小技」ができる選手のみ「実戦形式」の選考を行い、「セーフティーバント」「スラップ」の技術力が確認された。

142名全員が持てるすべての力を出し切り、3日間にわたる選考会全日程を終了した。

選考会終了後、女子強化委員会にて「女子U15日本代表選手」16名を決定（選考結果は次頁の通り）。

選考を通過した16名の女子U15日本代表は、中国・山東省威海で今年10月12日～18日の7日間にわたって開催予定（大会派遣期間…2026年10月9日～10月19日）の「第3回女子U15アジアカップ」で上位2チームに与えられる「第3回女子U15ワールドカップ」出場権（来年アメリカ・オクラホマシティで開催予定）を獲得すべく、「アジアカップ連覇」をめざし、戦うことになる。

女子U15日本代表チーム
選手選考会レポート
詳細は[こちら](#)

令和8年度 ◆女子U15日本代表チーム◆ (第3回女子U15アジアカップ出場選手)

・投手

- 櫻本 柊凜 (神田女学園中学校)
- 七野 果恋 (岸和田市立岸城中学校)
- 高原樹梨亜 (ニューリバーソフトボールクラブ)
- 中村 咲耶 (薩摩フェアリーズ)
- 浪瀬 茉央 (鹿児島チェリーブロッサムソフトボールスポーツ少年団)
- 諸橋 日和 (神田女学園中学校)

・捕手

- 高畑 磨穂 (AICHI DREAM RUSH)
- 山下 結愛 (度会レパーズ)
- 和田 妃叶 (薩摩フェアリーズ)

・内野手

- 赤木 未来 (岡山エンゼルス)
- 鈴木れれん (神奈川 Seagulls)
- 武田 珀 (神田女学園中学校)
- 橋本 陽美 (福岡レッドドリームズ)
- 福田 彩晴 (神奈川 Seagulls)
- 望月美桜華 (Bluestar)

・外野手

- 森井 澄香 (神田女学園中学校)





ニトリ
JD.LEAGUE



ニトリ JD.LEAGUE 2026 第2節～第5節



第2節

4月17日(金)・19日(日)、「ニトリJD.LEAGUE 2026」第2節が、「東地区」埼玉県上尾市、愛知県安城市の2会場、「西地区」愛知県豊橋市、滋賀県高島市の2会場・計4会場で開催された。

今節は「東地区」上尾ラウンド、安城ラウンド、「西地区」豊橋ラウンドの3会場で「フライデーナイト」を実施。「東地区」では、昨シーズン「東地区優勝」を飾った戸田中央が今節も3連勝。開幕から5戦全勝で「単独首位」に立っている。



「東地区」全勝で首位を走る戸田中央

これを4勝1敗のデンソーが2位で追い、ビックカメラ高崎、ホンダの2チームが3勝2敗で「同率3位」。「第

1節」で連勝スタートを切ったNECプラットフォームズは今節「痛恨」の3連敗で2勝3敗となり、太陽誘電も同じく2勝3敗の「同率5位」。開幕連敗スタートとなった日立が今シーズン初勝利を挙げたものの、1勝4敗の7位と出遅れ、大垣ミナモは開幕から勝ち星なしの5連敗となっている。



「西地区」単独首位の豊田自動織機

「西地区」は今節連勝の豊田自動織機が4勝1敗で「単独首位」となり、同じく今節連勝を飾った「4連覇」を狙うトヨタが3勝2敗と盛り返し、SGホールディングス、SHIONOGI、伊予銀行と並んで4チームが「同率2位」で並走する「大混戦」となっている。開幕連勝の好スタートを見せた日本精工は今節連敗で早くも貯金を吐き出し、6位まで順位を落とし、1勝4敗の東海理化が7位、開幕4連敗とまだ勝ち星のないタカギ北九州が最下位に沈んでいる。

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第2節「東地区」上尾ラウンド 埼玉県上尾市・UDトラックス上尾スタジアム

月日	試合結果			
4月17日(金)	戸田中央	メディックス埼玉	5-0	日立 サンディーバ
4月18日(土)	第1試合	日立 サンディーバ	5-4	大垣 ミナモ
	第2試合	戸田中央	メディックス埼玉	4-3 太陽誘電 ソルフィーユ
4月19日(日)	第1試合	日立 サンディーバ	0-5	太陽誘電 ソルフィーユ
	第2試合	戸田中央	メディックス埼玉	9-1 大垣 ミナモ

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第2節「東地区」安城ラウンド 愛知県安城市・デンソー プライトペガサス スタジアム

月日	試合結果			
4月17日(金)	デンソー プライトペガサス	1-0	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	
4月18日(土)	第1試合	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	1-2	ホンダ リヴェルタ
	第2試合	デンソー プライトペガサス	1-5	ビックカメラ高崎 ビークイーン
4月19日(日)	第1試合	ビックカメラ高崎 ビークイーン	7-0	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ
	第2試合	デンソー プライトペガサス	3-2	ホンダ リヴェルタ

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第2節「西地区」豊橋ラウンド 愛知県豊橋市・豊橋市民球場

月日	試合結果			
4月17日(金)	東海理化	チェリーブロッサムズ	4-1	SGホールディングス ギャラクシースターズ
4月18日(土)	第1試合	SGホールディングス ギャラクシースターズ	1-2	SHIONOGI レインボーストークス
	第2試合	東海理化	チェリーブロッサムズ	5-7 伊予銀行 ヴェールズ
4月19日(日)	第1試合	SGホールディングス ギャラクシースターズ	5-2	伊予銀行 ヴェールズ
	第2試合	東海理化	チェリーブロッサムズ	2-3 SHIONOGI レインボーストークス

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第2節「西地区」高島ラウンド 滋賀県高島市・今津スタジアム

月日	試合結果			
4月18日(土)	第1試合	トヨタ レッドテリアーズ	5-2	タカギ北九州 ウォーターウェーブ
	第2試合	日本精工 プレイベアリーズ	0-2	豊田自動織機 シャイニングベガ
4月19日(日)	第1試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	12-6	タカギ北九州 ウォーターウェーブ
	第2試合	日本精工 プレイベアリーズ	3-4	トヨタ レッドテリアーズ

第3節

4月24日（金）～26日（日）、「ニトリJD.LEAGUE 2026」第3節が行われ、「東地区」群馬県太田市、愛知県安城市の2会場、「西地区」兵庫県尼崎市、福岡県北九州市の2会場・計4会場で開催され、「西地区」北九州ラウンドのみ「フライデーナイト」を実施。また同会場の大会3日目・第2試合が悪天候のため、27日（月）に順延され、何とか予定された全試合を消化することができた。

「東地区」では、昨シーズン「東地区の覇者」戸田中央が今節も快調に連勝。開幕からの連勝を「7」とし、「単独首位」の座を堅持している。

シーズン開幕となった「第1節」「ホーム」で2敗を喫したビックカメラ高崎が前節（第2節）、今節と着実に星を伸ばし、5勝2敗と盛り返し、デンソーと並んで「同率2位」。4勝3敗のホンダが4位につけ、日立、太陽誘電、NECプラットフォームズの3チームが2勝5敗の「同率5位」で並び、大垣ミナモが開幕7戦目のホンダ戦で2-1と競り勝ち、嬉しい今シーズン初勝利。開幕からの連敗を「6」で止め、1勝6敗とした。

「西地区」は3チームが5勝2敗で

「同率首位」に並ぶ大混戦。「4連覇」を狙うトヨタが「第2節」、この「第3節」で4連勝して盛り返し、前節まで4勝1敗で「単独首位」に立っていた豊田自動織機がSHIONOGIに敗れたこともあり、5勝2敗で並び、今節連勝を飾ったSGホールディングスを含め、3チームが「同率首位」に並ぶ形となった。



「西地区」は上位も下位も大混戦……どこが抜け出す!?

これを4勝3敗のSHIONOGIが4位で追いかけて、3勝4敗の伊予銀行が5位。タカギ北九州、東海理化、日本精工の3チームが2勝5敗で並び、上位も下位も「大混戦」の様相を呈している。

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第3節「東地区」太田ラウンド 群馬県太田市・太田市運動公園野球場					
月日	試合結果				
4月25日(土)	第1試合	ビックカメラ高崎	ビーキューン	7-0	大垣 ミナモ
	第2試合	太陽誘電	ソルフィーユ	0-3	ホンダ リヴェルタ
4月26日(日)	第1試合	ホンダ リヴェルタ		1-2	大垣 ミナモ
	第2試合	太陽誘電	ソルフィーユ	0-3	ビックカメラ高崎 ビーキューン

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第3節「東地区」安城ラウンド 愛知県安城市・デンソー プライムペガサス スタジアム					
月日	試合結果				
4月25日(土)	第1試合	戸田中央	メディックス埼玉	2-1	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ
	第2試合	デンソー	プライムペガサス	11-10	日立 サンディーバ
4月26日(日)	第1試合	NECプラットフォームズ	レッドファルコンズ	3-4	日立 サンディーバ
	第2試合	デンソー	プライムペガサス	0-1	戸田中央 メディックス埼玉

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第3節「西地区」尼崎ラウンド 兵庫県尼崎市・ベイコム野球場					
月日	試合結果				
4月25日(土)	第1試合	トヨタ	レッドテリアーズ	14-0	伊予銀行 ヴェールズ
	第2試合	SHIONOGI	レインボーストークス	6-2	豊田自動織機 シャイニングベガ
4月26日(日)	第1試合	豊田自動織機	シャイニングベガ	4-3	伊予銀行 ヴェールズ
	第2試合	SHIONOGI	レインボーストークス	1-3	トヨタ レッドテリアーズ

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第3節「西地区」北九州ラウンド 福岡県北九州市・北九州市民球場					
月日	試合結果				
4月24日(金)		タカギ北九州	ウォーターウェーブ	3-2	日本精工 ブレイブベアリーズ
4月25日(土)	第1試合	日本精工	ブレイブベアリーズ	1-2	東海理化 チェリーブロッサムズ
	第2試合	タカギ北九州	ウォーターウェーブ	1-10	SGホールディングス ギャラクシースターズ
4月26日(日)	第1試合	日本精工	ブレイブベアリーズ	1-3	SGホールディングス ギャラクシースターズ
	第2試合	タカギ北九州	ウォーターウェーブ	雨天順延	東海理化 チェリーブロッサムズ
4月27日(月)		タカギ北九州	ウォーターウェーブ	2-0	東海理化 チェリーブロッサムズ

第4節



「東地区」ビックカメラ高崎が戸田中央の開幕からの連勝をストップさせたのだが…

5月8日(金)〜10日(日)、「ニトリJD.LEAGUE 2026」第4節が行われ、「東地区」群馬県高崎市、神奈川県秦野市の2会場、「西地区」愛知県岡崎市、京都府宇治市の2会場・計4会場で開催され、「東地区」高崎ラウンドのみ「フライデーナイト」が行われ、予定された全日程を無事消化することができた。

「東地区」では、ここまで「全勝」で首位を走ってきた戸田中央が「フライデーナイト」でビックカメラ高崎に1-4で敗れ、今シーズン初黒星を喫したが、その後の2試合はしっかりと勝利を収め、9勝1敗で「単独首位」であることは変わらず。

戸田中央の「連勝」をストップさせたビックカメラ高崎は今節最終戦の太陽誘電との「高崎ダービー」に4-10で敗れ、7勝3敗。消化試合数の差もあり、2位につけてはいるものの、「首位」戸田中央との差は縮まっていない。これを6勝3敗のデンソーが3位で追い、4勝5敗のホンダとNECプラットフォームフォームズが「同率4位」。日立、太陽誘電が3勝6敗の「同率6位」で並び、大垣ミナモが1勝8敗で最下位に沈んでいる。

「西地区」は前節(第3節)に続き、3チームが7勝2敗で「同率首位」に並ぶ大混戦。「4連覇」を狙うトヨタは伊予銀行戦で劣勢を強いられながら最終回3点差を追いつき、延長9回タイブレークの末、11-9で振り切り、今節も連勝。豊田自動織機は僅差の接戦を2試合連続でモノにし、SGホールディングスも着実に勝利を重ね、3チームとも一歩も譲らず「同率首位」に並ぶ形が続いている。

これを今節連勝で6勝3敗のSHIONOGIが4位で追いかけ、対照的に今節連敗で3勝6敗となった伊予銀行が5位。タカギ北九州、東海理化、日本精工の3チームが2勝7敗で並んでおり、その図式は変わっていないが、「上位」「下位」の色分けがハッキリしてきた感がある。

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第4節「東地区」高崎ラウンド 群馬県高崎市・宇津木スタジアム					
月日		試合結果			
5月8日(金)		ビックカメラ高崎	4-1	戸田中央	メディックス埼玉
5月9日(土)	第1試合	ホンダ	1-2	ビックカメラ高崎	ピークイン
	第2試合	太陽誘電	0-7	戸田中央	メディックス埼玉
5月10日(日)	第1試合	戸田中央	8-0	ホンダ	リヴェルタ
	第2試合	太陽誘電	10-4	ビックカメラ高崎	ピークイン

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第4節「東地区」秦野ラウンド 神奈川県秦野市・中栄信金スタジアム秦野					
月日		試合結果			
5月9日(土)	第1試合	デンソー	11-1	大垣	ミナモ
	第2試合	日立	1-3	NECプラットフォームズ	レッドファルコンズ
5月10日(日)	第1試合	大垣	1-14	NECプラットフォームズ	レッドファルコンズ
	第2試合	日立	12-1	デンソー	ブライトペガサス

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第4節「西地区」岡崎ラウンド 愛知県岡崎市・岡崎レッドダイヤモンドスタジアム					
月日		試合結果			
5月9日(土)	第1試合	SHIONOGI	5-3	伊予銀行	ヴェールズ
	第2試合	東海理化	3-14	トヨタ	レッドテリアーズ
5月10日(日)	第1試合	伊予銀行	9-11	トヨタ	レッドテリアーズ
	第2試合	東海理化	0-3	SHIONOGI	レインボーストークス

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第4節「西地区」宇治ラウンド 京都府宇治市・山城総合運動公園野球場					
月日		試合結果			
5月9日(土)	第1試合	日本精工	5-6	豊田自動織機	シャイニングベガ
	第2試合	SGホールディングス	4-1	タカギ北九州	ウォーターウェーブ
5月10日(日)	第1試合	タカギ北九州	5-7	豊田自動織機	シャイニングベガ
	第2試合	SGホールディングス	1-0	日本精工	ブレイブベアリーズ

選手・チームのプロフィール、試合結果、全試合のLIVE配信は JD.LEAGUE 公式サイトで <https://jdleague.jp/>

第5節

5月15日（金）～17日（日）、「ニトリJD.LEAGUE 2026」第5節が行われ、「東地区」栃木県宇都宮市、岐阜県大垣市の2会場、「西地区」滋賀県甲賀市、鹿児島県日置市の2会場・計4会場で開催され、金曜日の「フライデーナイター」から3日間の日程を予定通り終了した。

「東地区」では、昨シーズン「地区優勝」を飾った戸田中央が今節、日立に2-3で敗れたものの、通算成績10勝2敗で首位の座を堅持。

これを今節連勝で9勝3敗のビックカメラ高崎が2位で追いかけて、太陽誘電戦を落とし、今節1勝1敗のデンソーが7勝4敗で3位、6勝6敗のホンダが4位で続いている。

以下、5勝6敗のNECプラットフォームズが5位、今シーズン、なかなか調子の上がらなかった日立は「首位」戸田中央を破り、「復調気配」。5勝7敗で6位につけ、4勝8敗の太陽誘電が7位、大垣ミナモトが1勝11敗で最下位となっている。

「西地区」は「第4節」を終え、3チームが7勝2敗で「同率首位」に並ぶ大混戦となっていたが、今節「ホーム」開催扱いの日置ラウンドで3連勝

を飾った豊田自動織機が抜け出し、試合消化数の違いはあるものの、10勝2敗で「単独首位」に立った。「4連覇」を狙うトヨタは今節も連勝し、2敗を守り、9勝2敗で2位につけ、今節2勝1敗、豊田自動織機との「直接対決」に敗れたSGホールディングスが9勝3敗で3位。6勝5敗のSHIONO GIが4位、日本精工が4勝8敗で5位、3勝8敗の伊予銀行が6位、3勝9敗のタカギ北九州が7位、2勝9敗の東海理化が最下位となっている。



「西地区」消化試合数に差異はあるものの、「ホーム」開催扱いの今節3連勝で「単独首位」に立った豊田自動織機

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第5節「東地区」宇都宮ラウンド 栃木県宇都宮市・宇都宮清原球場					
月日	試合結果				
5月15日(金)		ホンダ リヴェルタ	10-5	太陽誘電 ソルフィーユ	
5月16日(土)	第1試合	NECプラットフォームズ レッドファルcons	5-3	太陽誘電 ソルフィーユ	
	第2試合	ホンダ リヴェルタ	1-4	デンソー ブライトペガサス	
5月17日(日)	第1試合	デンソー ブライトペガサス	2-3	太陽誘電 ソルフィーユ	
	第2試合	ホンダ リヴェルタ	7-0	NECプラットフォームズ レッドファルcons	

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第5節「東地区」大垣ラウンド 岐阜県大垣市・大垣市北公園野球場					
月日	試合結果				
5月15日(金)		大垣 ミナモ	2-4	日立 サンディーバ	
5月16日(土)	第1試合	日立 サンディーバ	3-8	ビックカメラ高崎 ビークイーン	
	第2試合	大垣 ミナモ	2-16	戸田中央 メディックス埼玉	
5月17日(日)	第1試合	日立 サンディーバ	3-2	戸田中央 メディックス埼玉	
	第2試合	大垣 ミナモ	2-11	ビックカメラ高崎 ビークイーン	

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第5節「西地区」甲賀ラウンド 滋賀県甲賀市・甲賀市民スタジアム					
月日	試合結果				
5月15日(金)		日本精工 プレイベアリーズ	8-2	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	
5月16日(土)	第1試合	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	3-1	SHIONOGI レインボーストックス	
	第2試合	日本精工 プレイベアリーズ	0-4	トヨタ レッドテリアーズ	
5月17日(日)	第1試合	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	0-4	トヨタ レッドテリアーズ	
	第2試合	日本精工 プレイベアリーズ	1-0	SHIONOGI レインボーストックス	

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第5節「西地区」日置ラウンド 鹿児島県日置市・YOSHIKOUスタジアム伊集院					
月日	試合結果				
5月15日(金)		豊田自動織機 シャイニングベガ	3-0	SGホールディングス ギャラクシースターズ	
5月16日(土)	第1試合	伊予銀行 ヴェールズ	1-6	SGホールディングス ギャラクシースターズ	
	第2試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	6-1	東海理化 チェリーブロッサムズ	
5月17日(日)	第1試合	SGホールディングス ギャラクシースターズ	13-9	東海理化 チェリーブロッサムズ	
	第2試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	3-1	伊予銀行 ヴェールズ	

ニトリ JD.LEAGUE 2026**東地区 第5節終了時点 順位表**

順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	戸田中央 メディックス 埼玉	10勝2敗	0.833
2位	ビックカメラ高崎 ビークイーン	9勝3敗	0.750
3位	デンソー ブライトベガサス	7勝4敗	0.636
4位	ホンダ リヴェルタ	6勝6敗	0.500
5位	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	5勝6敗	0.455
6位	日立 サンディーバ	5勝7敗	0.417
7位	太陽誘電 ソルフィーユ	4勝8敗	0.333
8位	大垣 ミナモ	1勝11敗	0.083

西地区 第5節終了時点 順位表

順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	豊田自動織機 シャイニングベガ	10勝2敗	0.833
2位	トヨタ レッドテリアーズ	9勝2敗	0.818
3位	SGホールディングス ギャラクシースターズ	9勝3敗	0.750
4位	SHIONOGI レインボーストークス	6勝5敗	0.545
5位	日本精工 ブレイブベアリーズ	4勝8敗	0.333
6位	伊予銀行 ヴェールズ	3勝8敗	0.273
7位	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	3勝9敗	0.250
8位	東海理化 チェリーブロッサムズ	2勝9敗	0.182



MORI ALL WAVE KANOYA



静岡
ソルフエジオ

Platinum Section

同率首位



第59回日本女子ソフトボールリーグ

第1節・第2節

【第1節】 令和8年4月18日（土）・19日（日）

福井県敦賀市・きらめきスタジアム プラチナ・サファイア合同開催

【第2節】 令和8年5月15日（金）～17日（日）

☆プラチナセクション：神奈川県小田原市・上府中公園小田原球場

★サファイアセクション：群馬県伊勢崎市・伊勢崎市ソフトボール場



ペヤング

小泉病院 Blue Arrows

Sapphire Section

☆プラチナセクション☆

静岡、MORI ALL WAVE KANOYA

4勝1敗で同率首位

★サファイアセクション★

小泉病院、ペヤングが

4勝1敗で首位並走

●第1節・プラチナセクション概要●

「第59回日本女子ソフトボールリーグ」開幕を告げる「第1節」が、プラチナセクション・サファイアセクション合同開催で、4月18日（金）・19日（日）の両日、福井県敦賀市・きらめきスタジアムを会場に開催された。

プラチナセクションは、前年度優勝の静岡ソルフエジオ（今シーズンからセカンドネームを追加）、第3位・YKK、第5位・花王コスメ小田原フェニックス、第7位・MORIALLWAVEKANNOYA、第10位・ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校、第12位・厚木SSCの6チームが振り分けられ、同セクション内で2回総当たりのリーグ戦を実施。「交流節」でのサファイアセクションとの3試合の対戦成績を含め、計13試合の結果でセクション内1位〜6位の順位を決定。その上で「最終順位」を決定する「順位決定節」を行い、プラチナセクション・サファイアセクション両セクションの1位・2位のチームが「日本リーグ優勝」をかけて争う「順位決定節」Aブロックに進出。日本リーグ優勝チーム並びに2〜4位を決定し、両セクション3位・4位による「順位決定節」Bブロックで5〜8位を、5位・6位による「順位決定節」Cブロックで9〜12位を決定する。

「第1節」の結果は、「連覇」を狙

う静岡、MORIALLWAVEKANNOYAの両チームが連勝発進。「同率首位」に並んだ。



MORIALLWAVEKANNOYAが連勝発進 「連覇」を狙う静岡が好スタート

YKK、ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校が1勝1敗の「同率3位」で続き、花王コスメ小田原、厚木SSCは勝ち星なしの連敗スタートで「同率5位」という順になった。

●第1節・サファイアセクション概要●

「第59回日本女子ソフトボールリーグ」開幕を告げる「第1節」が、プラチナセクション・サファイアセクション合同開催で、4月18日（金）・19日（日）の両日、福井県敦賀市・きらめきスタジアムを会場に開催された。

サファイアセクションは、前年度優勝のVONDS市原EmeraldGrass、第4位・大和電機BlueLakers、第6位・小泉病院BlueAerows、第8位・平林金属Peachblossoms、第9位・ペヤング、第11位・CitrineSHIMANE（今シーズンからチームの拠点を愛知県一宮市から島根県雲南市へと移し、それに伴い、チーム名を改称）の6チームが振り分けられ、前述のプラチナセクションと同様の試合方式で順位を決定する。

「第1節」の結果は、小泉病院とペヤングが連勝発進。「同率首位」に並んだ。小泉病院は初戦の平林金属戦で終盤、5点差をひっくり返し、9-18の逆転サヨナラ勝ち。これで勢いに乗り、続くVONDS市原戦は9-10で圧勝。連勝の好スタートを切った。

ペヤングも初戦のCitrineSHIMANE戦、競り合いながらも最終回に突き放し、9-13で勝利を収め、続く大和電機戦は2-1の1点差

で勝利。しぶとい試合運びで開幕ダッシュに成功した。



投手陣が安定したペヤングも同率首位 打線好調！ 首位躍進の小泉病院

大和電機、平林金属は1勝1敗で「同率3位」のスタート。2年連続準優勝「今年こそ！日本リーグ優勝を」と意気込んで開幕を迎えたVONDS市原は「まさか……」の連敗。CitrineSHIMANEと並んで「同率5位」と出足で躓いてしまった。

第59回日本女子ソフトボールリーグ 第1節「プラチナセクション」				
月 日	試合結果			
4月18日(土)	第1試合	花王コスメ小田原 フェニックス	0-7	MORI ALL WAVE KANOYA
	第2試合	静甲 ソルフェジオ	9-5	YKK
	第3試合	厚木SC	8-10	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校
4月19日(日)	第1試合	花王コスメ小田原 フェニックス	1-14	静甲 ソルフェジオ
	第2試合	MORI ALL WAVE KANOYA	2-1	厚木SC
	第3試合	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校	4-6	YKK

第59回日本女子ソフトボールリーグ 第1節「サファイアセクション」				
月 日	試合結果			
4月18日(土)	第1試合	VONDS市原 Emerald Green	3-4	大和電機 Blue Lakers
	第2試合	小泉病院 Blue Arrows	9-8	平林金属 Peachblossoms
	第3試合	Citrine SHIMANE	3-9	ペヤング
4月19日(日)	第1試合	小泉病院 Blue Arrows	9-0	VONDS市原 Emerald Green
	第2試合	平林金属 Peachblossoms	11-3	Citrine SHIMANE
	第3試合	ペヤング	2-1	大和電機 Blue Lakers

※試合のスコアをクリックすると各試合のレポートがご覧になれます

第1節



開幕発表記者会見



エスコート キッズ



First Pitch Ceremony



サイン会



ソフトボール教室

JSL ではソフトボール教室の実施やエスコートキッズの導入等、普及活動にも積極的に取り組んでいる

●第2節・プラチナセクション概要●

「第59回日本女子ソフトボールリーグ」プラチナセクション「第2節」は、5月15日(金)〜17日(日)の3日間、神奈川県小田原市で開催された。

「第1節」で連勝の好スタートを切り「連覇」を狙う静甲は、今節初戦、同じく開幕連勝スタートのMORIALL WAVE KANOYAとの「首位攻防戦」を先制しながら1-2の逆転で落とし、今シーズン初黒星を喫したものの、残り2試合を連勝。通算成績4勝1敗とした。

一方、静甲との「直接対決」に勝利したMORIALL WAVE KANOYAは、この試合に勝って「単独首位」に立ったものの、続くYKK戦を2-3で落とし、今シーズン初黒星。最終戦のルネス紅葉スポーツ柔整専門学校戦は8-1で大勝し、静甲と同じく4勝1敗で並び、「同率首位」で「第2節」を終了した。

これを追うのはYKK。今節2戦目でMORIALL WAVE KANOYAの連勝をストップさせ、その時点では「同率首位」に並んだのだが、最終戦の花王コスメ小田原戦に0-1の完封負け。3勝2敗で3位につけた。

今節「ホーム」開催の花王コスメ小田原は2勝1敗で通算成績2勝3敗の

4位。ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校は今節3連敗で1勝4敗の5位と順位を落とし、今節、花王コスメ小田原との「同県対決」で「神奈川ダービー」で今シーズン初勝利を挙げた厚木SCも1勝4敗。「同率5位」に並び、「第2節」を終えた。



同率首位に並ぶMORIALL WAVE KANOYA 「連覇」へ！ 同率首位の静甲

●第2節・サファイアセクション概要●

「第59回日本女子ソフトボールリーグ」サファイアセクション「第2節」は、5月15日(金)〜17日(日)の3日間、群馬県伊勢崎市で開催された。

「第1節」で開幕連勝の好スタートを切った小泉病院は、今節初戦で同じく連勝スタートのベヤングとの「直接対決」を迎え、最終回までリードを奪いながら、土壇場で同点ツーランを浴び、延長タイブレークの末、3-4で敗戦。残り2試合は連勝し、通算成績を4勝1敗とした。

「開幕ダッシュ」に成功し、「ホーム」開催で今節を迎えたベヤングは、小泉病院との「全勝対決」、2点のビハインドで迎えた最終回、代打・吉田果穂の同点ツーランで追いつき、延長タイブレークに持ち込み、最後は小谷輝のサヨナラ安打で4-3と劇的な勝利を挙げた。続くVONDS市原戦に敗れ、開幕からの連勝は「3」でストップしたものの、最終戦の平林金属戦、1点をリードされながら6回裏に7点を奪う大逆転で勝利を収め、「ホーム」で2勝1敗。「ミラクル」な戦いで通算成績を4勝1敗とし、小泉病院と並んで「同率首位」に立った。

これを3勝2敗の大和電機が3位で追い、平林金属が2勝3敗の4位。連



「ミラクル」ベヤングも「同率首位」に並ぶ 小泉病院が4勝1敗で「同率首位」

敗スタートのVONDS市原は、開幕3連敗となった後、連勝で盛り返し、2勝3敗。「同率4位」につけ、上位浮上の機会を狙っている。
Citrine SHIMANEは「第1節」に続き、今節も3連敗で開幕から勝ち星なしの5連敗。島根に本拠地を移しての「初勝利」が遠い状態にある。

第59回日本女子ソフトボールリーグ 第2節「プラチナセクション」				
月 日	試合結果			
5月15日(金)	第1試合	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校	1-7	花王コスメ小田原 フェニックス
	第2試合	厚木SC	2-3	YKK
	第3試合	MORI ALL WAVE KANOYA	2-1	静甲 ソルフエジオ
5月16日(土)	第1試合	厚木SC	3-0	花王コスメ小田原 フェニックス
	第2試合	静甲 ソルフエジオ	7-0	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校
	第3試合	YKK	3-2	MORI ALL WAVE KANOYA
5月17日(日)	第1試合	静甲 ソルフエジオ	4-2	厚木SC
	第2試合	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校	1-8	MORI ALL WAVE KANOYA
	第3試合	花王コスメ小田原 フェニックス	1-0	YKK

第59回日本女子ソフトボールリーグ 第2節「サファイアセクション」				
月 日	試合結果			
5月15日(金)	第1試合	ペヤング	4-3	小泉病院 Blue Arrows
	第2試合	平林金属 Peachblossoms	3-1	VONDS市原 Emerald Green
	第3試合	Citrine SHIMANE	3-10	大和電機 Blue Lakers
5月16日(土)	第1試合	VONDS市原 Emerald Green	6-2	ペヤング
	第2試合	Citrine SHIMANE	6-9	小泉病院 Blue Arrows
	第3試合	大和電機 Blue Lakers	5-2	平林金属 Peachblossoms
5月17日(日)	第1試合	VONDS市原 Emerald Green	16-4	Citrine SHIMANE
	第2試合	小泉病院 Blue Arrows	4-3	大和電機 Blue Lakers
	第3試合	ペヤング	7-3	平林金属 Peachblossoms

※試合のスコアをクリックすると各試合のレポートがご覧になります

第2節



大会結果詳細、戦績表、チーム紹介・選手プロフィール、試合スケジュール等詳細は

JSL オフィシャルウェブサイト <https://jsl-women.com/>

第59回日本女子ソフトボールリーグ

プラチナセクション 第2節終了時点 順位表

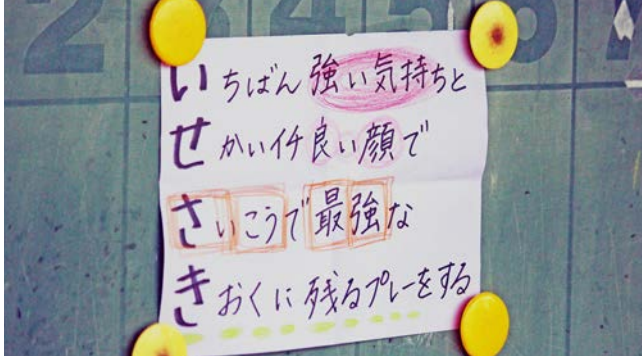
順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	静甲 ソルフエジオ	4勝1敗	0.800
1位	MORI ALL WAVE KANOYA	4勝1敗	0.800
3位	YKK	3勝2敗	0.600
4位	花王コスメ小田原 フェニックス	2勝3敗	0.400
5位	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校	1勝4敗	0.200
5位	厚木SC	1勝4敗	0.200

サファイアセクション 第2節終了時点 順位表

順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	小泉病院 Blue Arrows	4勝1敗	0.800
1位	ベヤング	4勝1敗	0.800
3位	大和電機 Blue Lakers	3勝2敗	0.600
4位	VONDS市原 Emerald Green	2勝3敗	0.400
4位	平林金属 Peachblossoms	2勝3敗	0.400
6位	Citrine SHIMANE	0勝5敗	0.000



2026 シーズン リーグ開催真っ盛り！



全国各地で 熱戦を展開中！

4月に開幕した2026シーズンもJDリーグ、日本男子ソフトボールリーグ、日本女子ソフトボールリーグとリーグ開催真っ盛り！毎週のように全国各地で熱戦が展開されている。

選手たちはもちろん「勝利」「優勝」をめざして全力でプレイしているが、その選手たちの姿に一喜一憂する「ソフトボールファン」の存在があり、また、大会を支えてくれる審判員、記録員、大会運営役員・スタッフの皆さんの支えと尽力があつて日々の試合が、大会が、成り立っている。

試合はもちろんのこと、何とか大会を盛り上げようと、各開催地で趣向を凝らしたファンサービスやイベントも実施され、「ソフトボールって楽しい！」「また観に来たい!!」と思っていただけのように、「ソフトボールやってみようかな……」とつながることも期待して、「エスコートキッズ」や「ファーストピッチセレモニー」（始球式）等、子どもたちの胸に残り、思い出となるような企画が行われている。

試合後には「ソフトボール教室」や「サイン会」等、ソフトボールの普及・発展につながるような企画も行われている。皆さん！ぜひ一度、試合会場に足を運んでみてください!!きっと皆さんの胸に残り、記憶に残る瞬間が待っているはずです。

ニトリ JD.LEAGUE 2026 第2節～第5節



第59回日本女子ソフトボールリーグ第1節・第2節



事務局だより

日本男子ソフトボールが「世界ランキング1位」堅守！

去る5月14日、WBS C（世界野球ソフトボール連盟）が「男子ソフトボール」における「最新世界ランキング」を発表。

WBS C		MEN'S SOFTBALL WORLD RANKING	
1	JAPAN	3128 PTS	-
2	VENEZUELA	2797 PTS	-
3	CANADA	2347 PTS	▲ 1
4	USA	2262 PTS	▲ 1
5	ARGENTINA	2146 PTS	▼ 2
6	MEXICO	1955 PTS	▲ 2
7	NEW ZEALAND	1884 PTS	-
8	AUSTRALIA	1828 PTS	▼ 2
9	CZECHIA	1466 PTS	-
10	DOMINICAN REPUBLIC	1027 PTS	▲ 1
11	SINGAPORE	980 PTS	▼ 1
12	COLOMBIA	796 PTS	▲ 1

wbsc.org @WBSC as of 14 May 2026

本誌2頁〜3頁に掲載した通り、4月25日〜5月3日/コロンビア・シラホにて開催された「第2回男子U23ワールドカップ」で男子U23日本代表チームが見事「初優勝」を飾り、世界ランキングポイントを大きく上積み。2位・ベネズエラに331ポイント差をつけ、「1位」の座を堅守した。

今回の男子U23日本代表チームにはU18カテゴリーからステップアップした選手が8名（※阿曾慎太、高橋理央、



男子U23 ワールドカップ初優勝により、ポイントが大きく加算された

八木孔輝、上野結来、永吉飛斗、山本陸人、大野流畏斗、津田龍輝）おり、U18ワールドカップ↓U23ワールドカップと続けて「世界1」を経験。この貴重な「国際経験」は彼らにとってまさに「財産」であり、日本男子ソフトボールの未来を照らす「希望の光」といえる。

まだまだ成長・進化の途中……次代を担う若き才能の、これからに期待したい！



2023 男子U18 ワールドカップでは「連覇」を達成！



2020 男子U18 ワールドカップ優勝